

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03~204023

(43)Date of publication of application: 05.09.1991

(51)Int.CI.

G06F 3/06

G11B 19/02

(21)Application number : 01-344494

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing:

30.12.1989 (72)

(72)Inventor: HIRAI YOSHIRO NAKANO ICHIRO

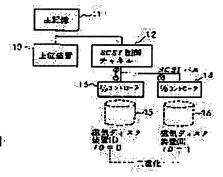
ARIGA KENICHI

(54) DUPLEXING CONTROL SYSTEM FOR MAGNETIC RECORDER

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily attain the duplex write processing by processing a 1st magnetic recorder with a write command and applying the write processing to a 2nd magnetic recorder with a copy command linked to the relevant write command.

CONSTITUTION: A SCSI control channel 12 receives a write command to a magnetic disk device (I) from a main storage 11 of a host device 10. When the final bit of the write command is defined as a link graph and set at '1', the linkage of a copy command is shown. This copy command is issued to the device (I) and the write processing is carried out by an I/O controller 13. Then a copy command is issued to the device (I) when the write processing is ended. Thus the copy processing is carried out to the copy destination address designated by the copy command, i.e., to a magnetic disk device (II). Then the duplexing control of the write processing is ended with the end of the copy processing. Thus, the duplexing control is attained with high efficiency to the magnetic recorder.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

11)特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-204023

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)9月5日

G 06 F G 11 B 19/02 304 E

6711-5B 7627-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

60発明の名称 磁気記録装置の二重化制御方式

> ②特 願 平1-344494

願 平1(1989)12月30日 223出

@発 明

養郎

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

伊智郎 ⑫発 中野

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

@発 明者 有 家 賢 一

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

勿出 願 人 富士通株式会社 四復代理人 弁理士 田坂 善重

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

1. 発明の名称

磁気記録装置の二重化制御方式

2. 存許請求の範囲

共通コマンドにより各種の周辺装置を接続でき るインタフェースを用いた計算機システムにおい

2台の磁気配録装置に対しライト処理を行なり ため、

まず、第1の磁気記録装置をライトコマンドで 処理し、

故コマンドにリンクされたコピーコマンドで第 2の磁気配量装置をライト処理するように制御す ることを特徴とする磁気配録装置の二重化制御方

3.発明の詳細な説明

〔概

共通コマンドが使用できる計算機システムにお ける政気記録装置ライト処理の二重化 制御方式に

刈し、

1回のバスの獲得処理で2台の磁気記録装置の ライト 処理を行なりよりに した二重化制御方式を **逸供することを目的とし、**

2 台の磁気記録装置に対しライト処理を行なり ため、

まず、第1の磁気記録装置をライトコマンドで 処理し、

該コマンドにリンクされたコピーコマンドで集 2の磁気記録装置をライト処理するように制御す るように構成する。

〔産業上の利用分野〕

共通コマンドが使用できる計算機システムにな ける磁気記録装置ライト処理の二重化制御方式に 関するものである。

〔従来の技術〕

従来、計算機システムで、各種の周辺装置の異 性に依存することなく共通のコマンドを供給し制

特開平3-204023 (2)

御するインタフェースを具えた方式 が用い られて いる。

SCSI(Small Computer System Interface)はこの種のインタフェースの一種であり、米国規格協会(ANSI)で規格された小型システム用周辺装置接続インタフェースである。

なる,

本発明の目的は、1回のバス獲得処理で2台の 磁気記录装置のライト処理を行なりようにした二 重化制御方式を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

前記目的を達成するため、第1図の原理説明図に示すように、共通コマンドにより各種の周辺装置を接続できるインタフェースを用いた計算機システムにおいて、

2 台の磁気記録装置 15, 16 に対し ライト処理を 行なりため、

まず、第 1 の 磁気記録装置 15 をライトコマンド ①で処理し、

数コマンドにリンクされたコピーコマンド③で 第2の磁気記録装置 16 をライト処理するように制 御する構成とする。

〔作 用〕

上位装置からのデータをたとえばSCSI制御チ

一方、SCSIでは、真性を意識したコマンド及び 機能を追加することもできる。

SCSI バスを有するシステムにかいて、共通のライトコマンドを用いて周辺装置として 2 台の磁気ディスク装置に対し、同じ内容を書込む二重化制御の従来方式を第 6 図に示す。同図にかいしたデータを SCSI 制御チャネル 12 を介して 2 台ので、大道のでは、大道のでは、10 が磁気ディスク装置 10 が磁気ディスク装置 (I) 15 にライトコマンドを発行し、その処理が終了した後、発行し処理させる。

〔 発明が 解決しようとする課題〕

上記従来の 2 台の磁気ディスク装置のライト処理を行なり二重化方式では、上位装置 10 から磁気ディスク装置(I) 15 と磁気ディスク装置(I) 16 に対し、それぞれライトコマンドを発行するため、各バスを獲得する処理が必要で処理手順が複雑と

ャネル 12 を介して磁気記録装置(I) 15 に ライトコマンド①とこれにリンクしたコピーコマンド②を1 回のバス獲得で送り、ライトコマンド①の終了後コピーコマンド②の処理を磁気記録装置(I) 16 に対し行なう。

(実施例)

第2図は実施例の構成説明図であり、第3図は その動作を示す流れ図である。

第2図において、上位装置 10の制御により主記 11 11 のデータが統出され、 SCSI 制御チャネル 12 と SCSI バスを介し 2 台の磁気 ディスク装置に対し、 I/O コントローラ 15,14 を通して磁気 ディスク装置(I) 15,(I) 16 を接続する。そしてその制御は第1 図の原理説明図に示すように、 磁気ディスク装置(I) (ID=0) に、ライトコマンド①を送りライト処理終了後、同じパスを通しコピーコマンド②を送り、コピーしたデータをディスク装置(I) 16 (ID=1) に送りライト処理する。

第3図は実施例の動作を示す流れ図である。

特開平 3-204023 (3)

同図において、上位装置 10 の主記憶 11 から SCSI 制御チャネル 12 が磁気ディスク装置 (I) に対する ライトコマンドを受領する。このライトコマンド の最終ビットをリンク (LINK) フラグとし、 11 の場合コピーコマンドが連結することを示す。これが磁気ディスク装置 (I) に対し発行され、 I/O コントローラ 13 によりライト処理が実行され、 ライト処理が終了したところで磁気ディスク装置 (I) に対してコピーコマンドが発行され、 コピーコマンドに指定されたコピー先アドレス, すなわち、磁気ディスク装置 (I) に対してコピー処理が実行され、コピー処理が実行され、コピー処理が終了することにより、ライト処理の二重制御が終了する。

第4図は実施例で使用される ライトコマンドの 1 例を示す。上位装置 10 から磁気 ディスク 装置 (I) 15 に対する ライト要求として、コマンドコード① (16 過数 で 2 A) と論理ブロック アドレス A と転送プロック数 B を含む 10 バイトより成り、最終バイトの末尾に LINK フラグ ②を付与し、これによりコピーコマンドに連結することを示してい

第 5 図 (a), (b) はコピーコマンドのコマンド②と これに連結されるパラメータ②とを示したもので ある。コマンド③ではコマンドコード②(16 進数 で 18)とこれに関連するパラメータリスト 長⊖ (16 進数で 0 ~ 19)を含む 6 パイトより成り、 最終パイトの末尾に LINKフラク母を付与し、これによりパラメータ②に連結することを示す。

パラメータ②はコマンド③内のパラメータの具体的内容を示すもので、磁気ディスク装置(I, I) 間コピーを示すコピイファンクションコード⊙(16 進数で 11)と、磁気ディスク(I)、(I)のID を指定するコード⑤、 ②と、 転送ブロック数 Bと、ソース及コピーの倫理ブロックアドレス(何れも A)より成る 20 パイトより成る。

これにより磁気ディスク装置(I)の内容を磁気ディスク装置(I)にコピイすることを示している。本発明は磁気ディスクに限らずたとえば磁気ドラム等の磁気記録体置でも適用可能である。

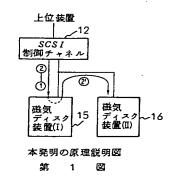
〔発明の効果〕

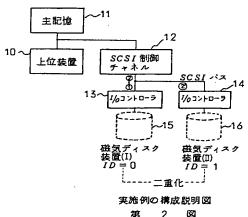
以上説明したように、本発明によれば、SCSIパスを第1の磁気記录装置へのパス獲得で、その終了にリンクする第2の磁気記录装置へのコピイコマンドを接続させることにより、容易にライト処理の二重化を実現することができ、最近要望の多い磁気記录装置の二重化制御を高い効率で実現することが可能となる。

4.図面の簡単な説明

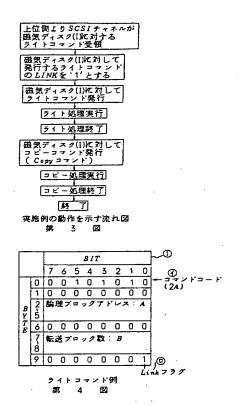
第1 図は本発明の原理説明図、第2 図は実施例の構成説明図、第3 図は実施例の動作を示す流れ図、第4 図はライトコマンド例、第5 図(a),(b)はコピーコマンド、第6 図は従来例の説明図であり、図中、10 は上位装置、11 は主配値、12 は SCSI制御チャネル、13,14 は 10 コントローラ、15.16 は 最気配象(ディスク)装置を示す。

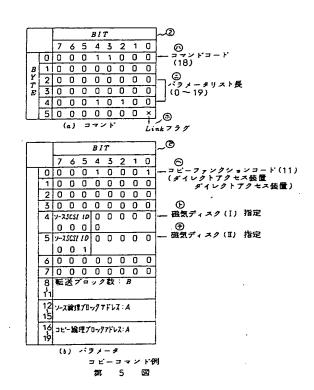
特許出顧人 富士通株式会社 復代理人 弁理士 田 坂 善 薫

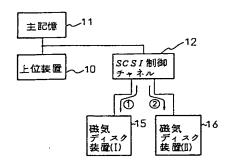




特開平 3-204023 (4)







従来例の説明図 第 6 図